

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第50号

第50週(12月6日～12月12日)

発行年月日:平成16年(2004年)12月17日

発行:滋賀県立衛生環境センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (50週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (50週)	全国 (50週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	9	557	7	459
	腸チフス	0	2	64	0	60
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	21	3,596	8	2,635
4類感染症	E型肝炎 <sup>(*)2</sup>	0	1	28		
	オウム病	0	1	38	1	44
	ツツガムシ病	0	0	250	2	380
	デング熱	0	2	44	0	31
	マラリア	0	2	71	0	77
	レジオネラ症	0	0	149	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	8	549	3	504
	ウイルス性肝炎	0	5	282	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	158	3	115
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	52	0	52
	後天性免疫不全症候群	0	5	1,065	8	949
	ジアルジア症	0	2	82	0	99
	梅毒	0	4	487	2	493
	破傷風	0	2	95	1	69
	急性脳炎	0	1	144	0	98

\*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

### 2) 定点把握の対象となる5類感染症

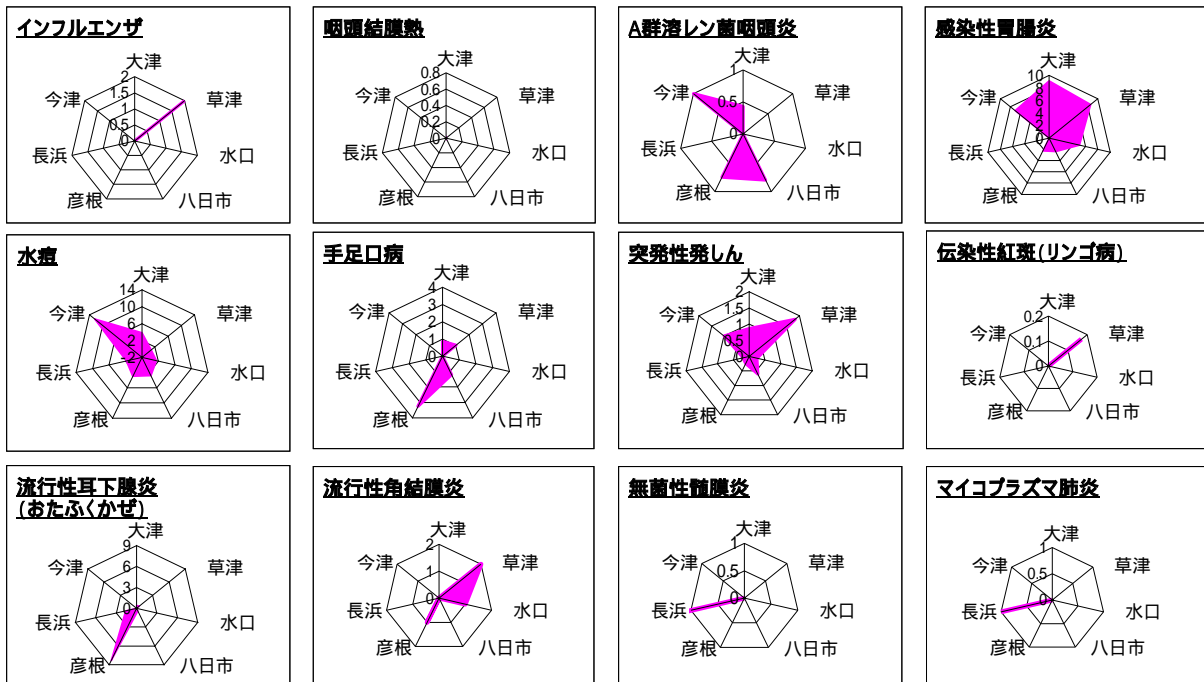
#### (1) 疾病別・週別発生状況(第45～50週、11/1～12/12)

疾患名	定点当たり患者数 ( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	45週		46週		47週		48週		49週		50週	
	(11/1～)	(11/8～)	(11/15～)	(11/22～)	(11/29～)	(12/6～)	46	47	48	49	50	
インフルエンザ	0	0	0.02	0	0.02	0.39						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0	0.03	0.03	0.12	0.15	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.36	0.39	0.48	0.45	0.61	0.36						
感染性胃腸炎	2.00	1.82	3.48	3.79	5.61	5.15						
水痘	1.24	1.27	1.45	1.88	1.58	2.97						
手足口病	1.03	1.03	1.24	0.76	0.91	0.94						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.03	0.09	0.06	0.03						
突発性発しん	0.27	0.48	0.70	0.42	0.67	0.76						
百日咳	0	0.06	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0.06	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.03	0.09	0	0	0.06	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.18	1.30	1.27	0.94	0.91	1.48						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.43	0.14	0	0.14	0.29	0.57						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0.14	0.29	0.29						
マイコプラズマ肺炎	0.29	1.29	0.14	0.29	0.57	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第50週、12/6～12/12)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0.39	0	2.00	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.36	0.43	0	0	0.80	0.75	0	1.00
感染性胃腸炎	5.15	9.14	8.50	5.00	2.40	2.25	0	7.00
水痘	2.97	3.86	0.83	1.50	2.80	3.00	1.80	12.50
手足口病	0.94	0.86	1.00	0	1.20	3.25	0	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.76	0.86	1.83	0.25	0.60	0.25	0.20	1.00
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.48	0.43	0.50	0	0.40	8.25	1.60	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.57	0	2.00	1.00	0	1.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。感染性胃腸炎については大津および草津で先週より少なくなっていますが、八日市および今津では先週より多くなっています。手足口病については先週多かった草津で減少し今週は彦根で急増しています。また、流行性角結膜炎については彦根から3週間連続して報告されており、水口からも2週間連続して報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### インフルエンザウイルスA香港型の検出 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成16年第1週～第50週)

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(11月29日～12月5日)の報告数よりさらに増加し、インフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で多くなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

また、インフルエンザについては、平成16年12月7日に採取されたうがい液から**インフルエンザウイルスA香港型(インフルエンザAH3型)**が検出されました。県内における今冬のインフルエンザウイルスA香港型の検出は今回がはじめてであり、今後、県内で流行する可能性があるため注意が必要です。

**インフルエンザ**については、第47週に彦根保健所管内から、また、第49週に水口保健所管内から報告されていましたが今週は草津保健所管内からの報告が急増しています。定点当たり患者数は0.39ですが、草津保健所管内においては2.00と多くなっています。

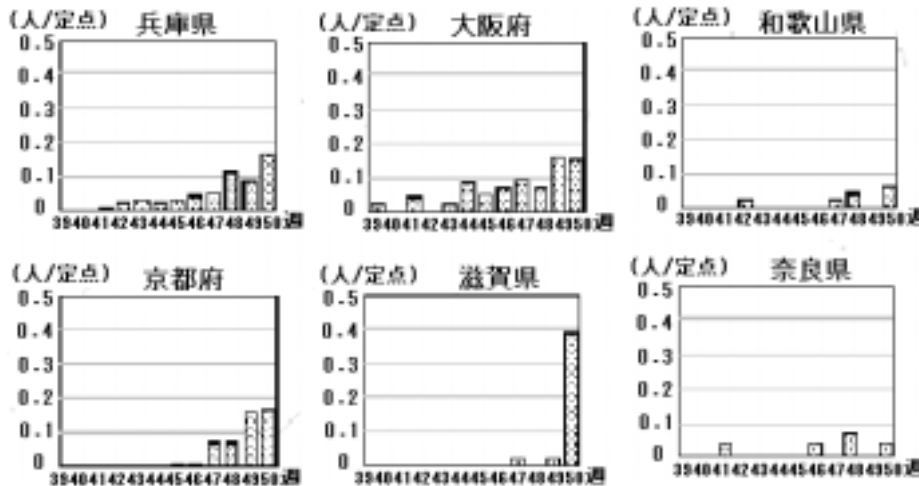
#### インフルエンザに対する一般的な注意

- 1.外出時には、マスクを使用する。
- 2.帰宅時には手洗いとうがいを心がける。
- 3.睡眠を十分にとり、栄養に気を配る。
- 4.室内を適度な湿度に保つ。
- 5.人混みに出かけることをなるべく避ける。
- 6.早めに医療機関を受診する(受診する際には、マスクを着用する)。

**水痘**については、先週の定点当たり患者数1.58より増加し2.97となっています。特に**今津保健所管内**においては12.50と非常に多くなっています。

**流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)**については、第47週(11/15～11/21)から3週連続して減少していましたが、再び増加し定点当たり患者数は1.48となり、彦根保健所管内においては8.25と多い状態が続いています。

#### 他府県におけるインフルエンザの発生状況(平成16年第39～50週、H16.9.20～H16.12.12)



滋賀県近隣の他府県におけるインフルエンザの発生状況についてみると、兵庫県、大阪府および京都府では第45週(11/1～11/7)前後から増加傾向を示しています。滋賀県では、今週急増し定点当たり患者数は0.39となり近隣の他府県のなかで最も多くなっています。

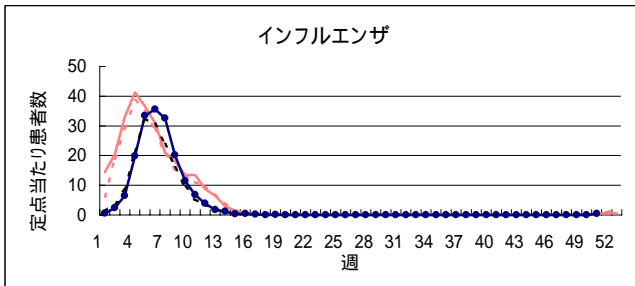
また、全国の定点当たり患者数についてみると、宮城県2.22、岡山県1.56、群馬県1.39、岐阜県0.75、千葉県0.65、東京都0.38となっています。

#### 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成16年第1～50週)

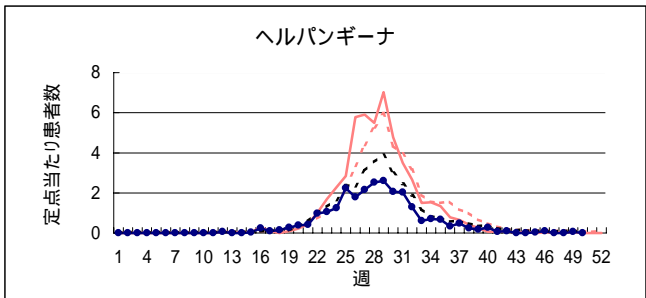
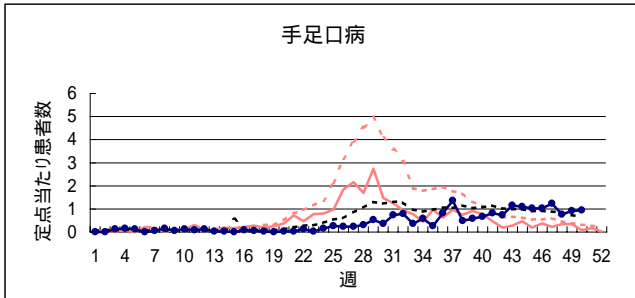
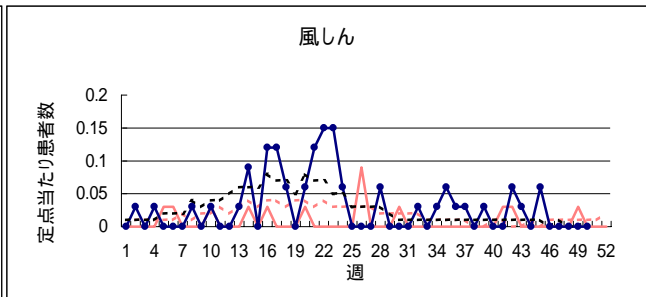
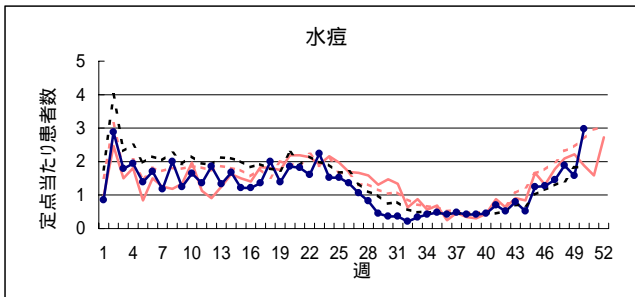
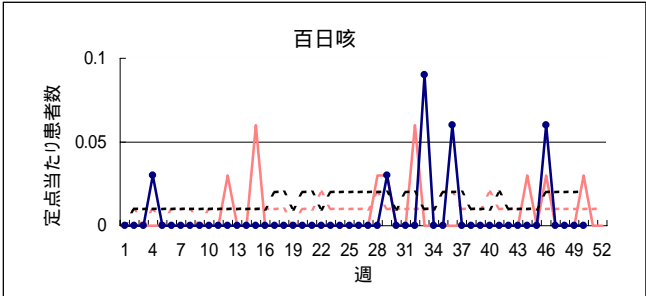
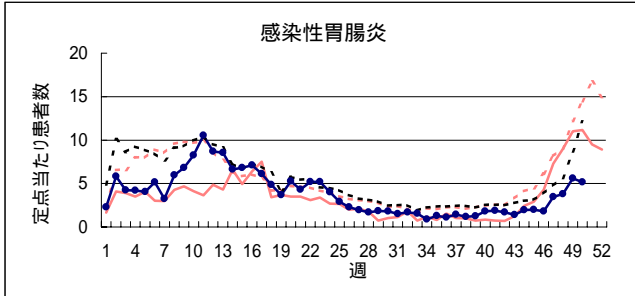
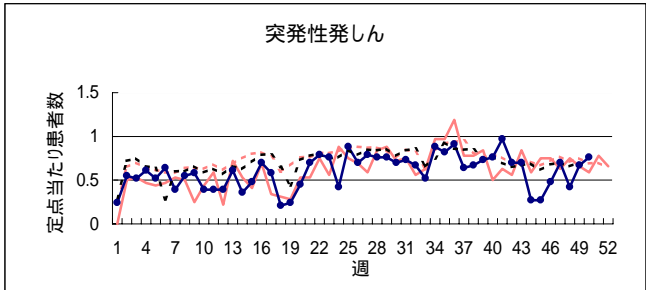
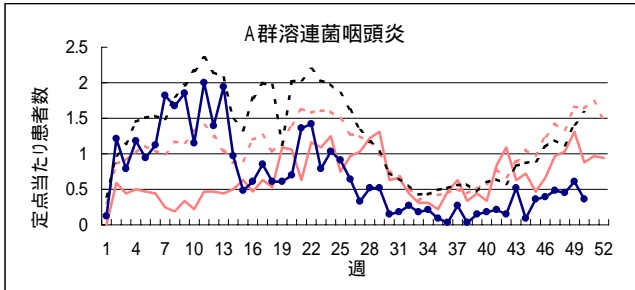
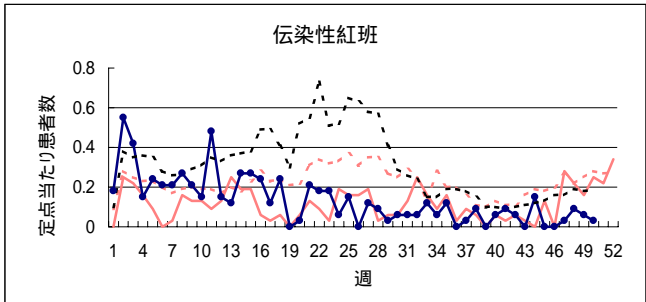
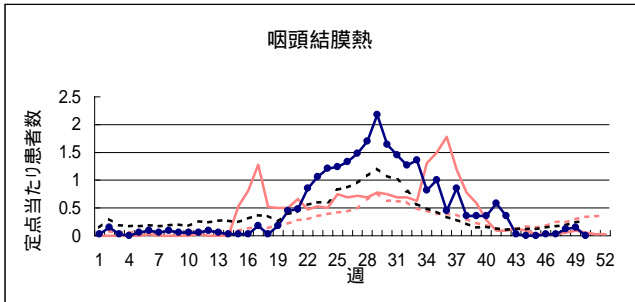
感染症類型	疾患名	1～46週の累積報告数	47～50週の報告年月日	概 要
一類感染症	報告なし	0		
二類感染症	細菌性赤痢	9	報告なし	
	腸チフス	2	報告なし	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21	報告なし	
四類感染症	E型肝炎	1	報告なし	
	オウム病	1	報告なし	
	デング熱	2	報告なし	
	マラリア	1	報告なし	
五類感染症			H16.11.19	推定感染地域: マダガスカル 推定感染源・感染経路: 蚊
	アメーバ赤痢	8	報告なし	
	ウイルス性肝炎	5	報告なし	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	報告なし	
	後天性免疫不全症候群	5	報告なし	
	ジアルジア症	1	H16.11.19	推定感染地域: キルギス 推定感染源・感染経路: 経口感染
	梅毒	3	H16.12.3	早期顕症梅毒 期 推定感染地域: 日本国内 推定感染源・感染経路: 異性間性の接触
	破傷風	2	報告なし	
急性脳炎		H16.11.18	推定感染地域: 日本国内 推定感染原因・感染経路: 不明	

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第50週、H15.12.29～H16.12.12)



SS  
 H15 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H16 { 滋賀 (solid blue line)  
       全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第50週、H15.12.29～H16.12.12)

H15 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕  
 H16 〔 滋賀 —●—●— 全国 ..... 〕

